

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第10号 平成26年5月17日

棚川11年振り 適時打で勝利に貢献！！

勝利を呼んだ久々の13盗塁！！

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | R |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | 0 |
| G | 1 | 0 | 4 | 2 | 0 | | | 7 |



5/17(土) ども自然公園野球場にて、ハーキュリーズとのオープン戦を行った。今日の先発は達脇でプレイボールとなった。入りはストライクから、やはり、ストライクからの入りは、チームに安心感を与える。が1-1から三遊間を抜かれ安打で出塁を許した。そして、今日マスクを被ったのは11年振りの棚川、次打者の時に二盗を許し、無死二塁とピンチを迎えた。しかしこの打者を見逃し三振に斬り一死、更に捕邪飛、投ゴロとその後は無難に打者を抑え0封発進、その裏の攻撃、先頭は倒れたが二番智がきっちりセンター前に運び出塁、その後二盗、三盗を決め、今度はこちらが先制の場面を迎えた。ここで打席に光希が入り、カウント2-2から出されたサインはスクイズ、がこれを空振りするも、相手投手の制球が暴投及び、三塁からの智の好走塁でホームイン、更には光希は振り逃げと最悪が最高の形になり、先制を挙げた。光希は4番棚川の時に二盗を決めたが、リードが大きく帰塁出来ず、牽制アウトで二死、打席の棚川は、結果四球を選択し出塁するも、次打者が倒れこの回を終えた。今日の達脇は非常に良い投球、打たせて取るを実践し、2回は三人8球で三者凡退に斬った。その裏、一死後達脇がレフトの守備にも助けられる2ベースを放ち出塁するも、後続が倒れ残塁、三回には1安打を喰らったが、2打者連続三振も交えまたもや0封、そしてこの裏の回でゲームが大きく動いた。先頭哲也が四球を選択し出塁すると、二番・三番打者の時に二盗・三盗を決め、一死三塁と形を作る。ここで、チーム珍新記録が誕生した。最初の打席で振り逃げを記録した光希が、この打席でも振り逃げを決め、2打席連続振り逃げというチーム珍新記録で出塁し、一死一・三塁、更に光希が4番打者の時に二盗を決め、一死二・三塁、ここで11年振りの棚川バットが火を噴いた。打球はレフトの頭上を越すタイムリー2ベースで2者が生還、更に相手投手のWP、野手の失策の間に2点も追加し計4点をこの回に奪い、今日のゲームの勝利をぐっと引き寄せた。が、次の守備の時にアクシデントが発生した。今日好投していた達脇の足からぶちっという音がした、と急遽緊急降板、しかし、この後を受けた光希も2と四球を与えたが、それ以外の走者は出すことなく、びしゃりと抑える。4回には、3連続安打と野手の乱れで2点を更に追加し、今日のゲームを勝利とした。振り返ってみると、今日の勝利は、走塁だろう。貪欲に次の塁を目指す走塁、特に3回、4回と、送球の間、送球の乱れの間、走った事が何れも得点に繋がる。往々にして、手を抜きがちな走塁だけに、今日の走塁は非常に価値あるものだと感じた。更には、打撃不振の哲也も結果2本、そして泉にも人生初のBHを記録するなど、これから転機になってくれれば良い、と感じた打撃も出た。これからは、今日のゲームの様に、出塁したら、次の塁を貪欲に目指す気持ちを忘れずに、どんどん得点し勝利を掴みたい、と感じたゲームであった。